



# 2024年9月期第3四半期 決算補足説明資料

2024年8月9日



# エグゼクティブサマリ

## 減額修正

2024/9期通期見通しを引下げ。大型新增改築案件動向は想定通りながら、医療機器の発注はやや後ずれ傾向に

## 粗利率改善

ただし、採算向上への取組は着実に結実。想定粗利率を1.3ppt引上げ。直近は粗利率13%超となる四半期も増加

## 経営体制

二人代表制を導入。経営トップの若返りも進め、意思決定速度を加速し、次世代に向けた経営体制の充実と強化が狙い

## 株式分割

9月末基準で普通株式1株につき3株を割当てる株式分割(1:3)を実施。株式流動性を高め、投資家層拡大を図る



1

## 2024年9月期3Q決算実績



## 2024年9月期3Q経営成績①

- 3Q累計決算では対前年6%減収、30%営業減益。案件が集中した上期に対し、期初想定の通り、3Qは案件数が減少。ただし、コスト上昇や医師の働き方改革から医療機関による医療機器の発注もやや後ずれ傾向に
- セグメント別には、主力のメディカルトータルソリューション事業が伸び悩み、減収減益。2Qまでの増益基調から、3Qは案件減少がブレーキに。一方、遠隔画像診断サービス、給食の2事業は堅調に推移

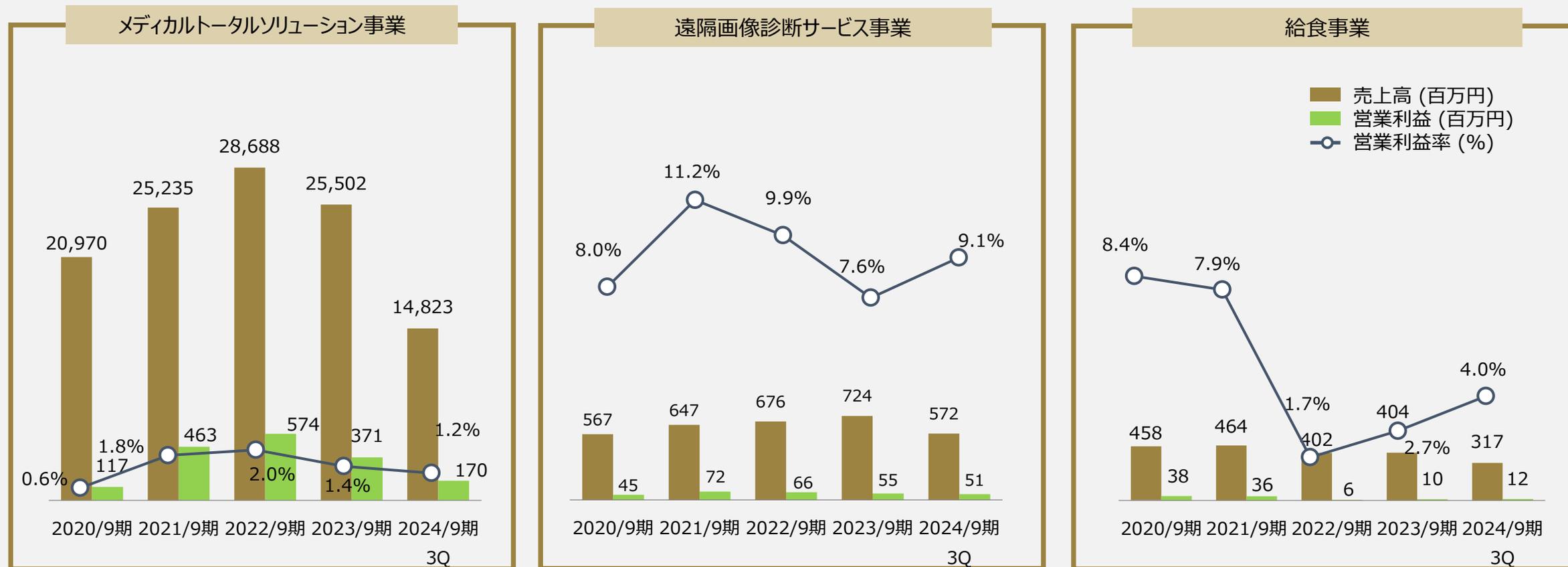
### 経営成績の推移

(百万円)	2021/9期 3Q実績	2022/9期 3Q実績	2023/9期 3Q実績	2024/9期3Q		
				実績	前年同期比較	
					差異	増減率
<b>売上高</b>	<b>21,472</b>	<b>25,195</b>	<b>16,674</b>	<b>15,713</b>	<b>▲960</b>	<b>▲5.8%</b>
メディカルトータルソリューション	20,637	24,394	15,828	14,823	▲1,005	▲6.4%
遠隔画像診断サービス	482	503	540	572	+32	+6.0%
給食	351	297	305	317	+12	+4.1%
<b>営業利益</b>	<b>785</b>	<b>886</b>	<b>337</b>	<b>237</b>	<b>▲100</b>	<b>▲29.7%</b>
メディカルトータルソリューション	691	822	277	170	▲106	▲38.4%
遠隔画像診断サービス	62	56	49	51	+2	+4.7%
給食	29	5	8	12	+3	+43.3%
調整	2	2	1	1	+0	+3.2%
<b>経常利益</b>	<b>800</b>	<b>940</b>	<b>328</b>	<b>240</b>	<b>▲87</b>	<b>▲26.7%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>540</b>	<b>625</b>	<b>195</b>	<b>190</b>	<b>▲5</b>	<b>▲2.6%</b>

# セグメント別業績推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上は案件減少の影響もあり、直近のボトムとなった2020/9期をやや下回るペース
- 遠隔画像診断サービス事業では、委託費単価上昇や人件費増が負担増あるも、利益率は好調
- 給食事業も収益性改善への取組み効果が継続し、利益率も堅調に推移

## 経営成績の推移





## 2024年9月期3Q経営成績②

- 3Q発生ベースでは、対前年、対2Qでいずれも減収減益
- ただし、粗利率は改善傾向が鮮明。3Qの粗利率は13.7%と、1Qの13.9%に次ぐ高水準を記録。採算向上への取組に注力した結果、2023/9期3Q以降の5四半期のうち3四半期で13%超の粗利率を計上。着実に筋肉質な収益構造に向けて変化

### 経営成績の推移

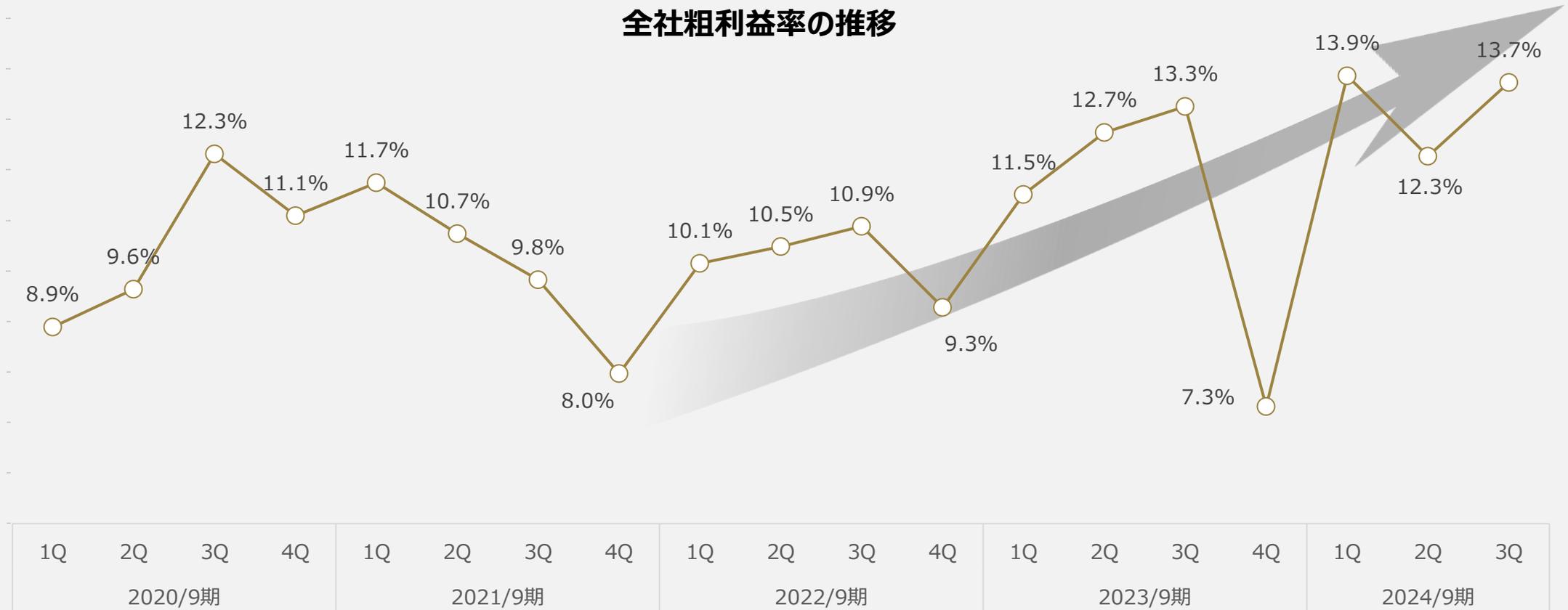
(百万円)	2022/9期				2023/9期				2024/9期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q
売上高	10,678	8,078	6,438	4,571	4,936	6,725	5,012	9,957	5,414	6,803	3,496
メディカルトータルソリューション	10,404	7,821	6,169	4,293	4,650	6,444	4,733	9,674	5,124	6,509	3,189
遠隔画像診断サービス	172	159	171	173	180	181	178	184	186	185	200
給食	100	98	98	105	105	99	100	99	102	108	106
営業利益	529	241	114	▲235	▲11	274	74	102	135	221	▲120
メディカルトータルソリューション	499	226	97	▲247	▲34	253	58	94	117	200	▲147
遠隔画像診断サービス	26	14	15	10	20	18	11	6	15	15	21
給食	2	1	1	1	1	2	4	2	2	5	5
調整	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
粗利率	10.1%	10.5%	10.9%	9.3%	11.5%	12.7%	13.3%	7.3%	13.9%	12.3%	13.7%



## 粗利益率の推移

- 全社ベースの粗利益率は2021/9期下半期をボトムに上昇。直近は13%超となる四半期も増加し、水準の底上げが進捗
- コロナ禍を経て、採算向上への取組に注力した結果が顕在化

全社粗利益率の推移

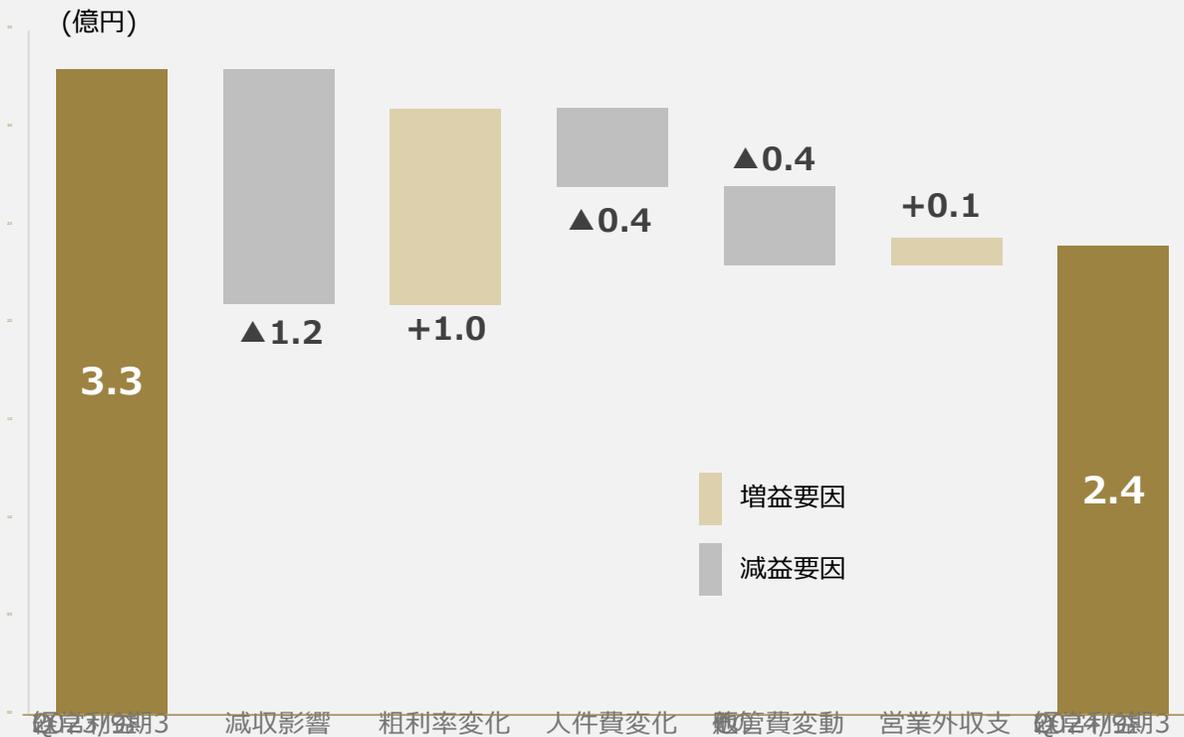




## 2024年9月期3Q 経常利益増減益要因分析

- 3Q累計の経常利益は対前年比0.9億円の減少。減益の主因は人件費や販売費などのコスト上昇。ただし、これらは優秀な人材確保や営業活動強化に伴うものであり、将来の成長可能性を担保するためにも不可避なものとして認識
- 売上減少も損益圧迫要因の一つ。しかし、その影響は採算向上への注力に伴う粗利益率改善で大幅な減殺を実現できており、売上減の影響はかなり限定的なものとする体質強化が進捗

### 経常利益増減益分析



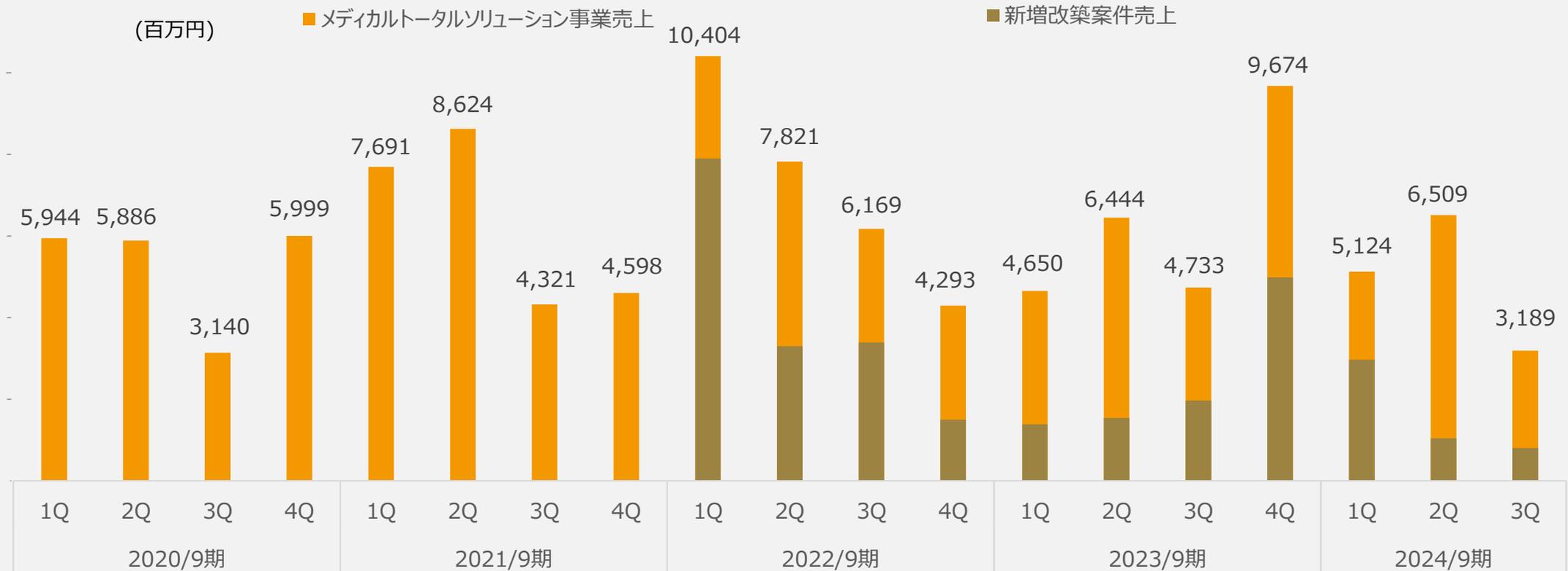
- 減収影響 ▲1.2億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業における新増改築案件の減少
  - ・コスト上昇や医師の働き方改革から医療機関による医療機器発注もやや後ずれ
- 粗利益率変化 +1.0億円
  - ・粗利益率は0.6ポイント改善 (12.5%→13.1%)
  - ・採算重視方針に伴う好採算案件の計上
- 人件費変化 ▲0.4億円
- その他販管費変動 ▲0.4億円
  - ・交通費/販売費/手数料 ▲0.1億円
  - ・業務委託費他 ▲0.1億円
- 営業外収支 +0.1億円



## メディカルトータルソリューション事業売上推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業の売上は、対2Qで大きく減少。四半期ベースでは2020/9期3Q以来の水準に
- 狩猟型ビジネスの主戦場となる新增改築案件では案件数が低水準となったうえ、その他機器や期中新規案件も顧客である病院で発注タイミング遅れの影響が散見

### メディカルトータルソリューション事業売上推移



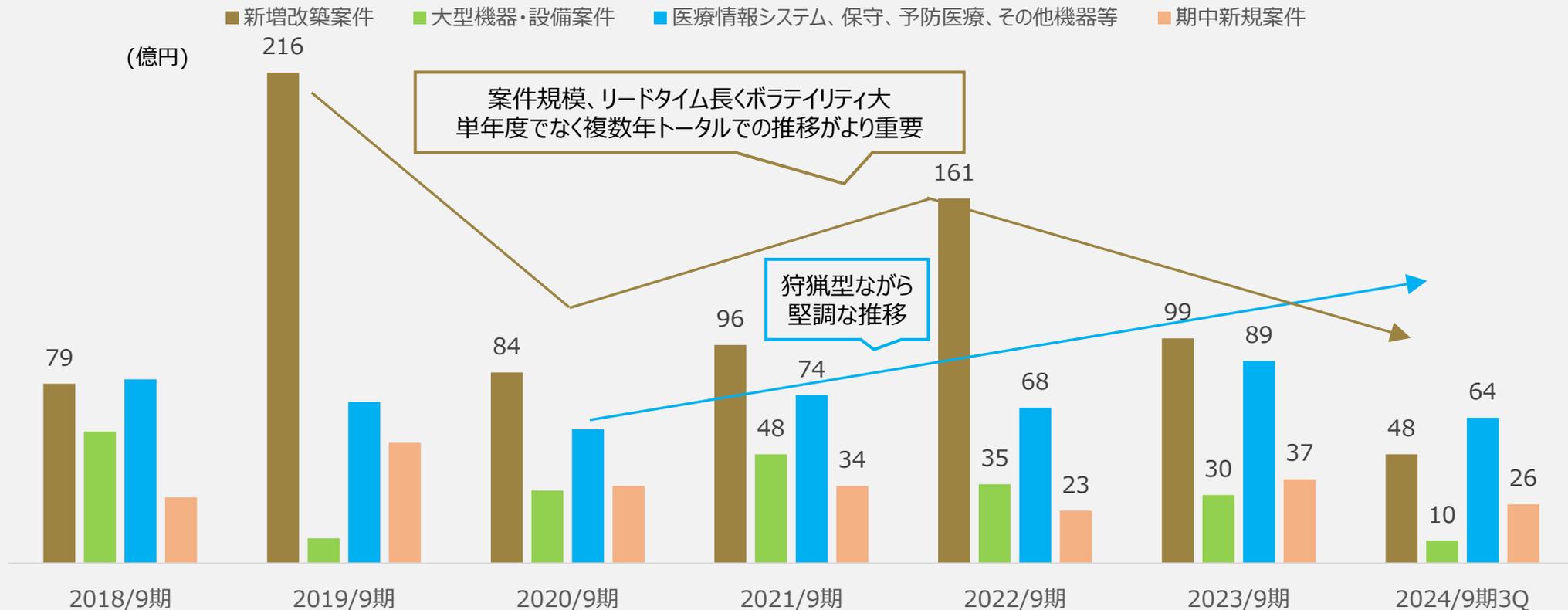
注) 2021/9期以前の新增改築案件売上は非開示



# メディカルトータルソリューション事業売上内訳推移

- 3Q累計実績ではシステム/保守/予防医療/その他機器等のカテゴリーにおけるその他機器の売上が事業内では引続き最大の柱に。コスト上昇に直面する病院での設備発注姿勢に遅れがみられるものの、期中新規案件を含め、対前期との比較では堅調に推移
- 一方、新增改築案件は低水準に。経験則的に、これは過去のトータルパックシステム新規受注件数が低調に推移したことがその要因。来期以降はトータルパックシステム受注増の影響発現を見込む

## メディカルトータルソリューション事業売上内訳



注：分類再集計により2022/9期実績数値を遡及修正



## 2024年9月期3Q 貸借対照表

- 前期末比較では総資産は32%の減少。前期末に残っていた売掛金、買掛金の相殺解消が一気に進んだことがその主因
- 総資産圧縮に伴い、3Q末の自己資本比率は56.0%に上昇（2Q末の自己資本比率は42.2%）。なお、3Q末時点のネットキャッシュは61億円に増加

### 財政状態の推移

(百万円)	2021/9期	2022/9期	2023/9期	2024/9期3Q	前期末比差異
<b>流動資産</b>	<b>11,755</b>	<b>12,232</b>	<b>13,508</b>	<b>8,993</b>	<b>▲4,514</b>
現預金	5,408	5,480	5,537	6,084	+547
受取手形・売掛金/契約資産	4,820	4,360	7,796	2,750	▲5,045
棚卸資産	188	24	21	74	+52
その他	1,337	2,368	153	85	▲68
貸倒引当金	▲0	▲0	▲1	▲1	+0
<b>固定資産</b>	<b>1,209</b>	<b>1,235</b>	<b>1,185</b>	<b>1,049</b>	<b>▲135</b>
<b>総資産</b>	<b>12,964</b>	<b>13,468</b>	<b>14,693</b>	<b>10,043</b>	<b>▲4,650</b>
<b>負債</b>	<b>7,805</b>	<b>7,930</b>	<b>8,969</b>	<b>4,251</b>	<b>▲4,718</b>
買掛金	4,890	3,960	7,620	2,718	▲4,902
有利子負債	127	92	2	10	+7
その他	2,788	3,876	1,347	1,522	+176
<b>純資産</b>	<b>5,159</b>	<b>5,537</b>	<b>5,724</b>	<b>5,792</b>	<b>+68</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>12,964</b>	<b>13,468</b>	<b>14,693</b>	<b>10,043</b>	<b>▲4,650</b>

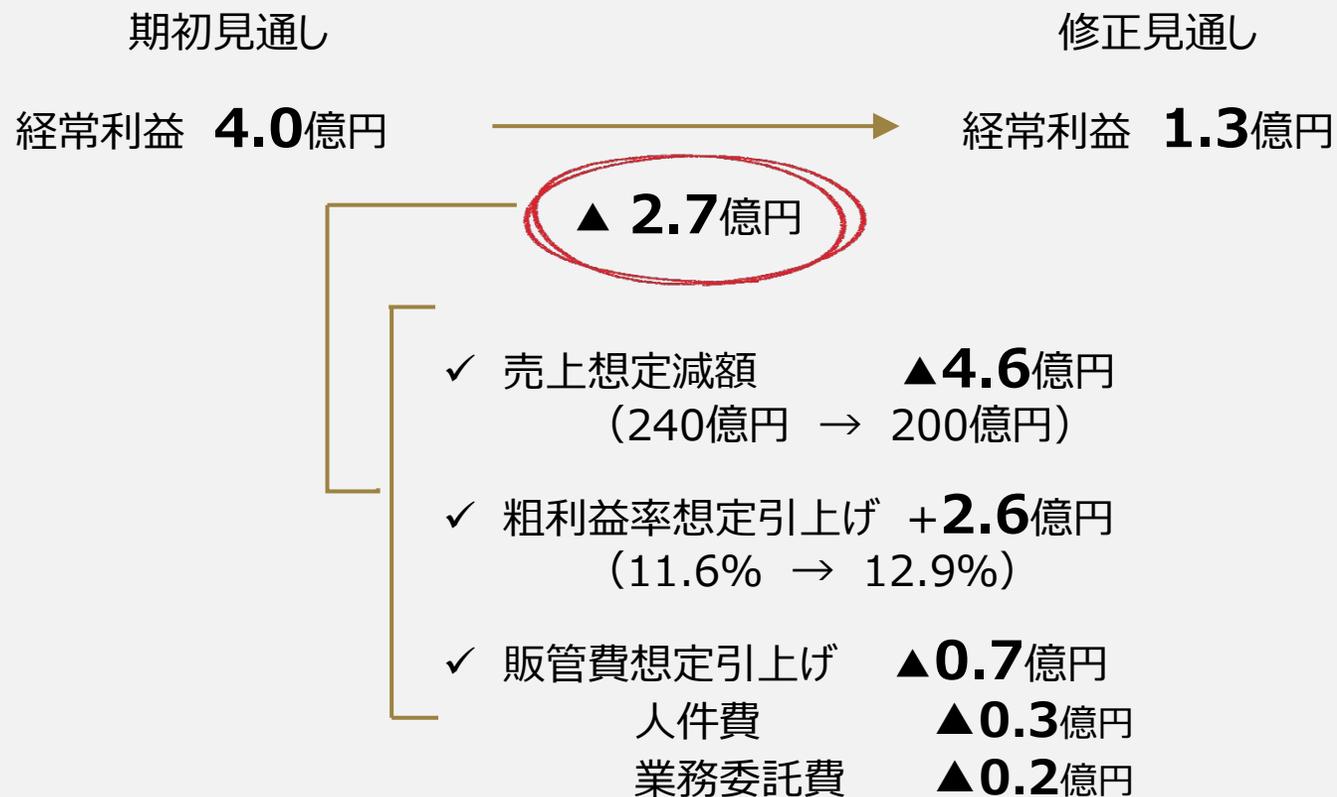


2

## 2024年9月期決算見通し



# 2024年9月期見通し修正





## 2024年9月期業績見通し

- 修正後の2024/9期通期見通しは、前年比25%減収、70%経常減益。利益率引上げによる収益力向上は進むものの、設備発注に対する医療機関の慎重スタンスが大きく影響
- セグメント別には、主力のメディカルトータルソリューション事業の売上・利益想定を大幅に引下げ。他方、遠隔画像診断サービスは小幅ながらも増額修正。診断サービスのニーズは着実に拡大

### 経営成績の推移

(百万円)	2021/9期 実績	2022/9期 実績	2023/9期 実績	2024/9期見通し		修正幅	対前年変化
				従来	修正		
<b>売上高</b>	<b>26,347</b>	<b>29,767</b>	<b>26,632</b>	<b>24,000</b>	<b>20,000</b>	<b>▲4,000</b>	<b>▲24.9%</b>
メディカルトータルソリューション	25,235	28,688	25,502	22,848	18,840	▲4,008	▲26.1%
遠隔画像診断サービス	647	676	724	738	750	+11	+3.5%
給食	464	402	404	413	410	▲3	+1.4%
<b>営業利益</b>	<b>576</b>	<b>650</b>	<b>440</b>	<b>400</b>	<b>130</b>	<b>▲270</b>	<b>▲70.5%</b>
メディカルトータルソリューション	463	574	371	344	72	▲272	▲80.7%
遠隔画像診断サービス	72	66	55	48	55	+6	▲1.1%
給食	36	6	10	5	1	▲4	▲84.4%
調整	3	2	2	1	1	+0	▲36.7%
<b>経常利益</b>	<b>595</b>	<b>709</b>	<b>431</b>	<b>400</b>	<b>130</b>	<b>▲270</b>	<b>▲69.9%</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>390</b>	<b>437</b>	<b>271</b>	<b>260</b>	<b>120</b>	<b>▲140</b>	<b>▲55.8%</b>



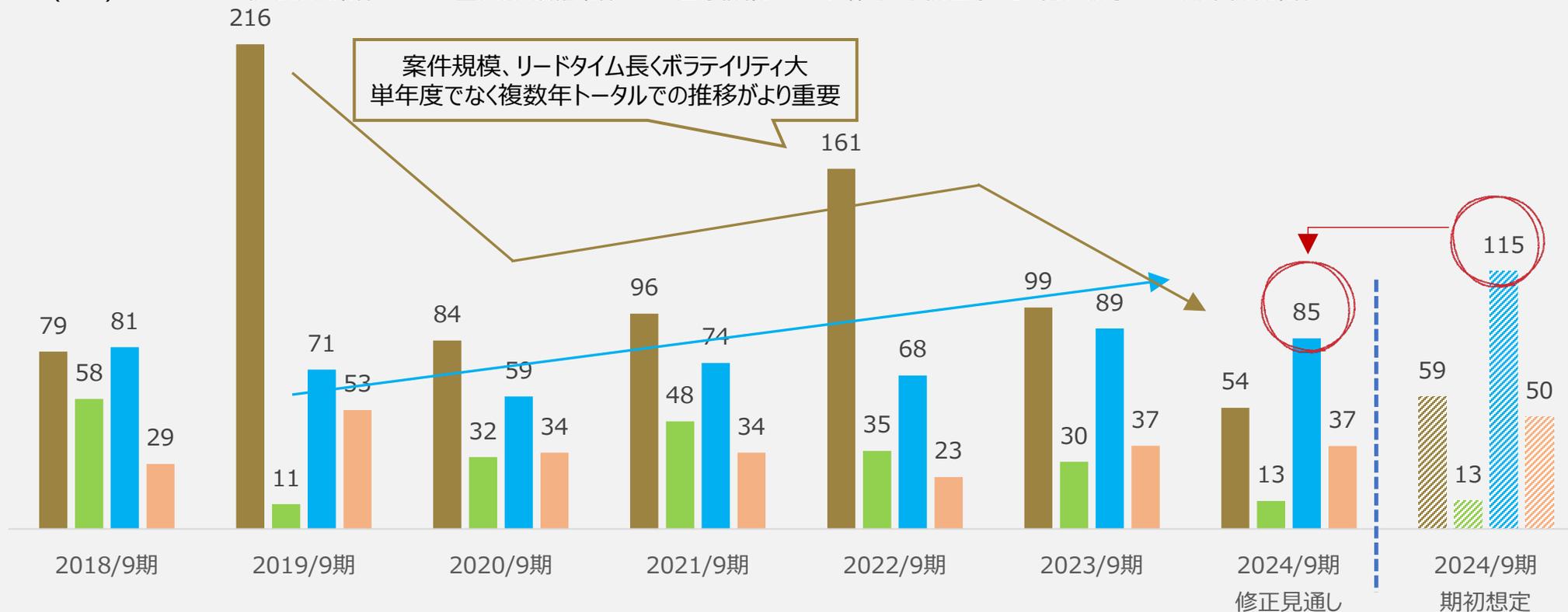
# メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- 期初想定から40億円を減額したメディカルトータルソリューション事業の売上を内容別に見ると、主力の新增改築案件売上はほぼ想定通りながら、これまで成長を見込んでいた医療情報システム/保守/予防医療などの領域で比較的大きな下方修正
- ただし、これは医療機関の機器関連発注の先送りに伴うモノ。注力中のIT展開イニシアティブを担う領域の売上は堅調

## メディカルトータルソリューション事業売上内訳

(億円)

■ 新增改築案件 ■ 大型機器・設備案件 ■ 医療情報システム、保守、予防医療、その他機器等 ■ 期中新規案件



C注：分類再集計により2022/9期実績数値を遡及修正



## 新增改築案件 予想前提

- 2024/9期の新增改築案件売上想定は54億円。期初前提比5億円の減額修正となるが、想定範囲内と受け止め
- 減額修正の主因は、売上10億円未満の中小型案件の計上時期ズレ

### メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2021/9期	2022/9期	2023/9期	2024/9期 見通し	前期対比
20億円以上	売上高	4,739	9,877	2,296	2,942	+646
	件数	2	3	1	1	±0
	平均単価	2,369	3,292	2,296	2,942	+646
10億円以上	売上高	1,476	3,995	3,594	-	▲3,594
	件数	1	3	3	-	▲3
	平均単価	1,476	1,332	1,198	-	▲1,198
10億円未満	売上高	3,395	2,180	3,984	2,468	▲1,516
	件数	11	6	13	10	▲3
	平均単価	308	363	306	246	▲60
合計	売上高	9,611	16,054	9,874	5,411	▲4,468
	件数	14	12	17	11	▲6
	平均単価	686	1,338	580	491	▲89
事業売上に占める一括販売比率		38.1%	56.0%	38.7%	28.7%	▲10.0pt

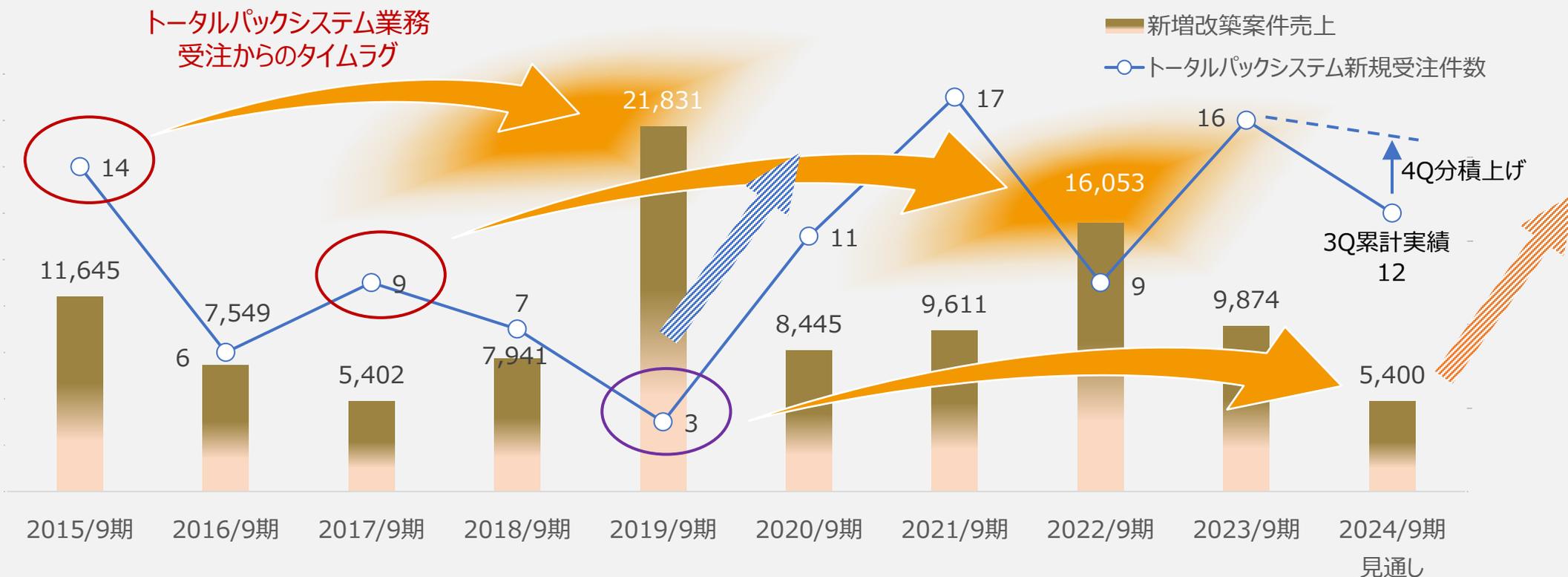


## 新增改築案件の先行指標

- 過去10期を見ると、トータルパックシステム受注が数期のタイムラグを経て新增改築売上に反映される傾向がうかがえる
- この傾向に変化がないとすれば、2020/9期よりトータルパックシステム受注件数は増加に転じており、新增改築案件の売上也再拡大局面を迎える可能性は高いと期待

メディカルトータルソリューション事業新增改築案件売上とトータルパックシステム受注件数との関係

(百万円)

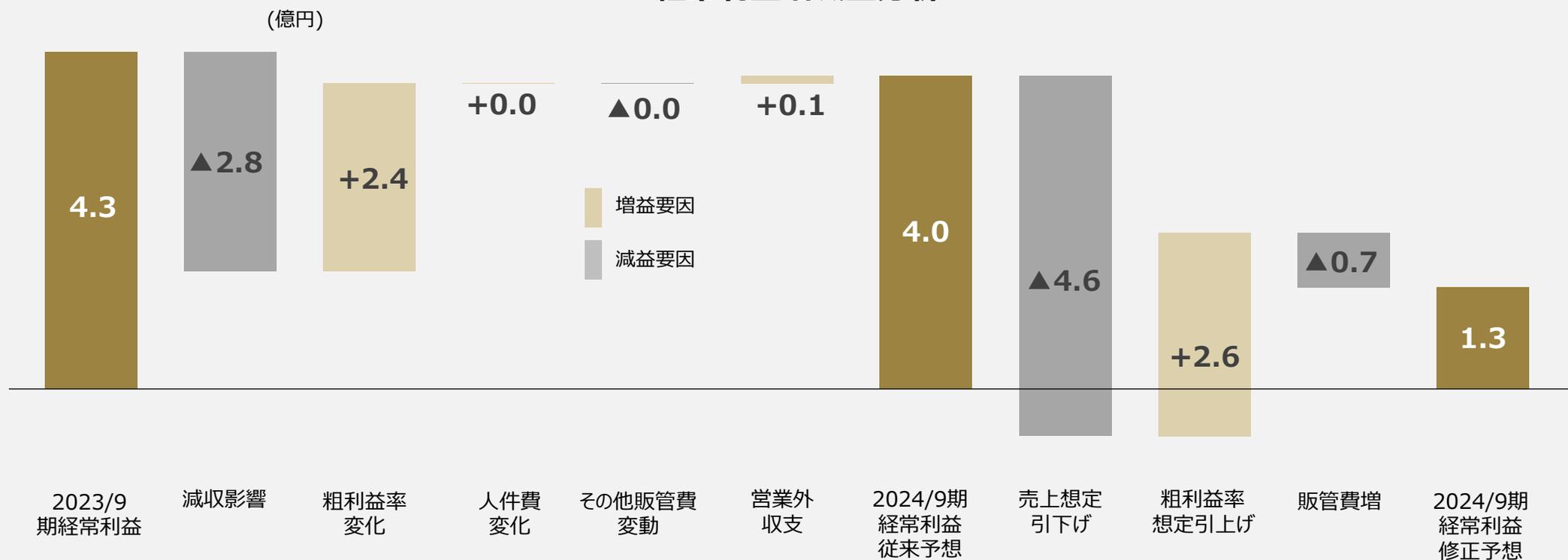




## 2024年9月期想定増減益分析

- 対前年比較で大幅減益となる最大の要因は売上の減少。およそ7.4億円（期初想定▲2.8億円+想定引下げ▲4.6億円）の減益要因に。ただし、その影響は粗利益率の改善効果5.0億円（期初想定2.4億円+想定引上げ2.6億円）で減殺する見通し
- 概して、厳しい経営環境を背景に医療機関の投資は慎重さが増しているものの、採算向上への取組はその効果が発現。経常利益は減益想定となるも、課題であった粗利益率の改善は実現へ

### 経常利益増減益分析

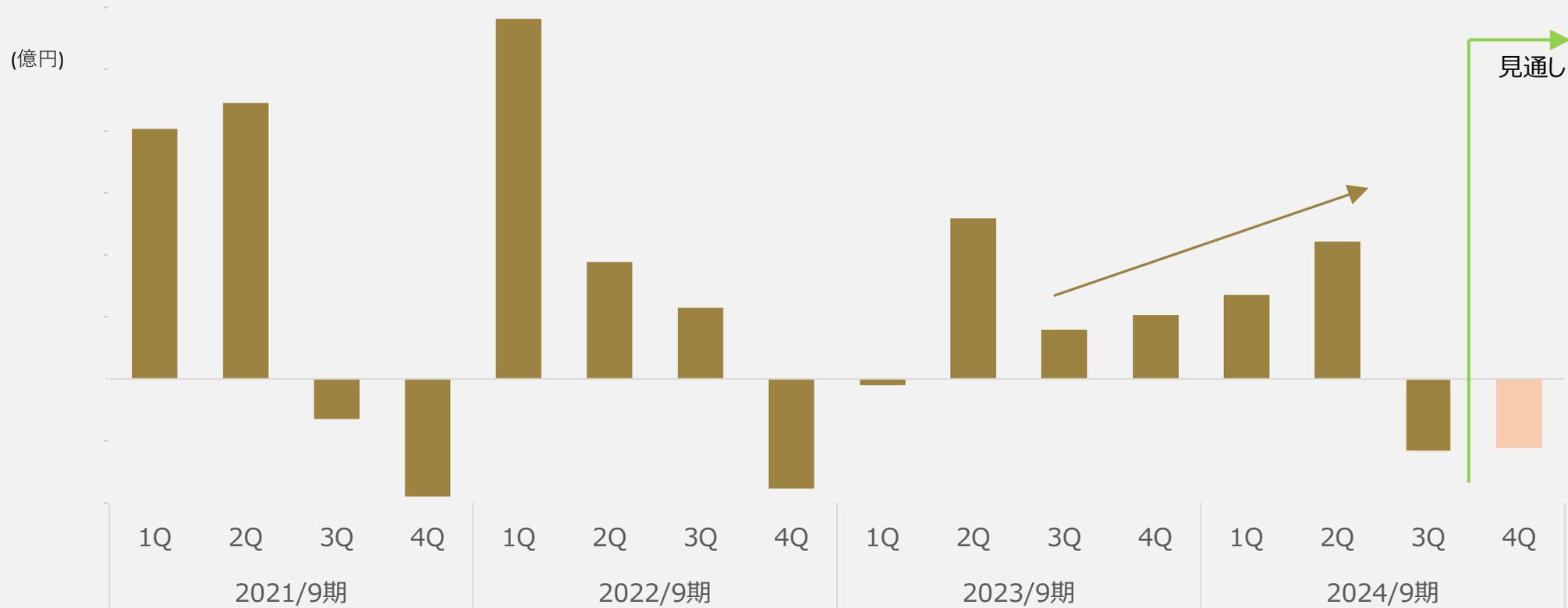




## 2024年9月期四半期別経常利益想定

- 通期見通し引下げに伴い、4Q発生ベースでも経常赤字となる見通し。2四半期連続の経常赤字は2022/9期4Q以来
- 対3Q比較では、経常赤字規模をほぼ同水準と想定。これは3Q比でメディカルトータルソリューションを中心に増収見通しながら、粗利益率は保守的に若干の低下を織り込んだことに拠る。それでも通期ベースの粗利益率は前期の10.6%から12.9%に上昇を見込む

四半期別経常利益の推移





3

# トピックス



# トピックス

- 1 **新経営体制**
- 2 **レオクラン東海の吸収合併**
- 3 **株式分割**
- 4 **資本コストや株価を意識した経営（アップデート）**



## トピックス1：新経営体制発足

2024年10月～

**代表取締役社長杉田昭吾**：代表取締役会長に就任予定

**常務取締役竹内興次**：代表取締役社長に就任予定

新経営体制の狙い

経営トップの若返りを進め、2代表体制  
導入により意思決定速度を加速  
次世代に向けた経営体制の充実と強化を図る



代表取締役社長 杉田昭吾



常務取締役 竹内興次

### <新経営トップの主な略歴>

#### 代表取締役社長 杉田昭吾

- 1978/4 西本産業(株) (現 キヤノンメドテックサプライ(株))入社
- 1996/4 (有)メディカル・トータル・プランナー設立 代表取締役 (現任)
- 2001/1 当社設立 代表取締役社長
- 2004/3 (株)レオクラン東海設立 代表取締役
- 2013/12 京都プロメド(株) 取締役 (現任)
- 2021/1 当社代表取締役社長兼管理本部長
- 2021/10 当社代表取締役社長 (現任)
- 2024/10 当社代表取締役会長就任予定

#### 常務取締役 竹内興次

- 1988/3 西本産業(株) (現 キヤノンメドテックサプライ(株)) 入社
- 2001/4 当社入社
- 2001/5 当社取締役第一営業部次長
- 2006/10 当社取締役第一営業部部长
- 2012/10 当社取締役営業副本部長
- 2021/10 当社取締役営業本部長
- 2022/4 (株)レオクラン東海取締役 (現任)
- 2022/12 京都プロメド(株)取締役 (現任)
- 2023/10 当社常務取締役営業本部長 (現任)
- 2024/10 当社代表取締役社長就任予定



## トピックス2：レオクラン東海の吸収合併

2024年10月 **100%子会社・レオクラン東海を吸収合併**



合併の狙い： 経営資源の集約、業務運営の一体化による  
経営効率化の実現

合併の経緯： 東海地方顧客対応に特化するも、基本業務の医療機器等販売はレオクランと完全に重複しているため、効率化余地は大きいと判断

合併による業績への影響： 当社連結業績に与える影響は軽微

合併に係る株式割当： 完全子会社との合併であり、本合併に伴う株式その他金銭等の割当はなし

### レオクラン東海 概要

#### <2023/9期実績>

所在地	岐阜市日野南	総資産	246百万円
事業内容	医療機器等販売	純資産	60百万円
資本金	2,000万円	売上高	1,019百万円
設立	2004年3月	経常利益	△17百万円





## トピックス3：株式分割

2024年10月1日 普通株式1株につき、3株の割当をもって**株式分割（1：3）**を実施

**基準日（権利確定日）：2024年9月30日**

株式分割の狙い：**株式の流動性を高め、投資家層の拡大を図る**

発行済株式数：

- ✓ 株式分割前の発行済株式総数： 1,966,800株
- ✓ 今回の分割により増加する株式数： 3,933,600株
- ✓ 株式分割後の発行済株式総数\*： 5,900,400株
- ✓ 株式分割後の発行可能株式総数： 21,000,000株

\*2024年8月9日の発行済株式総数を基準として算出

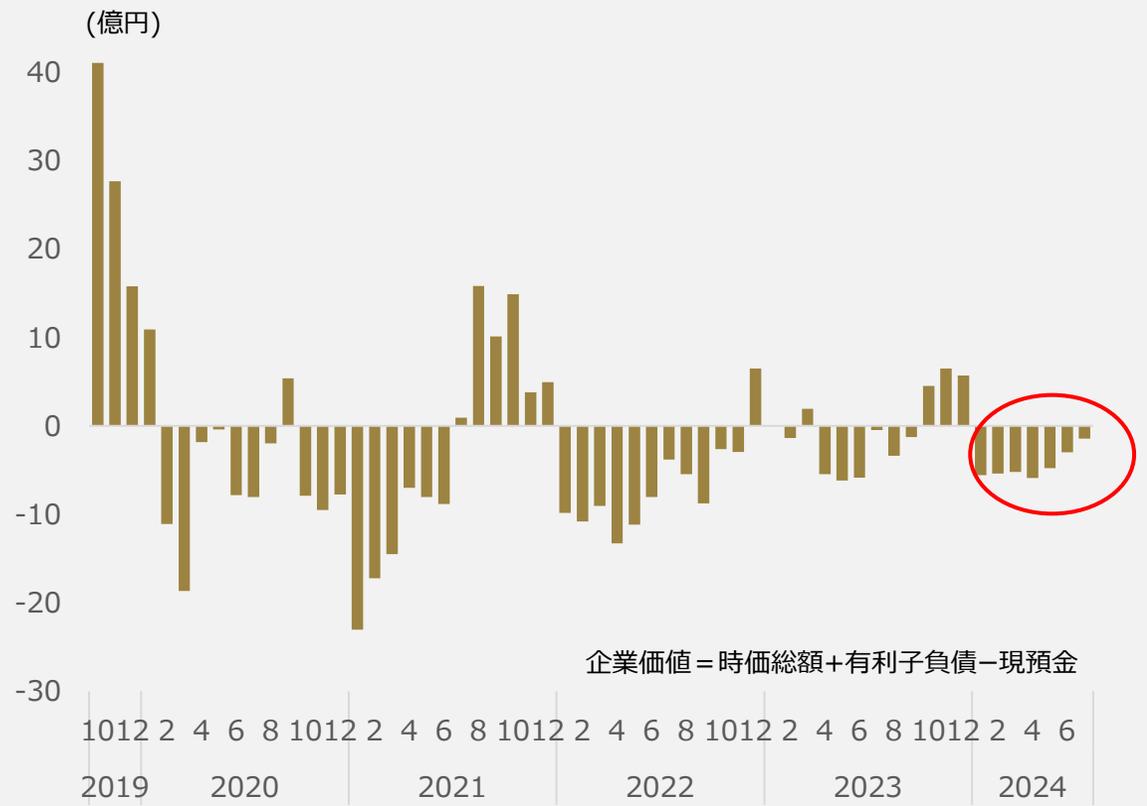




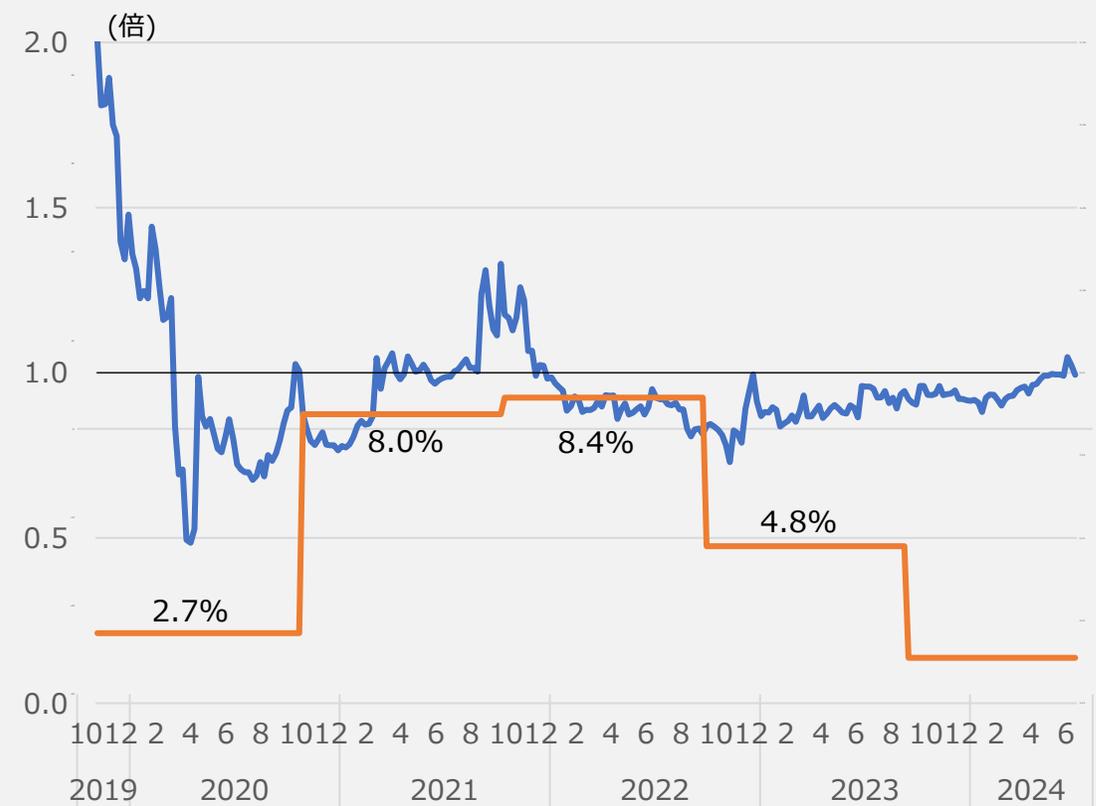
# トピックス4：資本コストや株価を意識した経営（アップデート）

■ 4月以降、PBRは上昇。2024/9期は業績下方修正とはなったものの、ROE改善に向けて引き続き、キャッシュの積極活用やコーポレート・ガバナンス強化などによる資本コスト引下げ努力を推進

### 企業価値の推移



### PBRとROEの推移





# 業績・財務ハイライト

決算年月		2019年9月	2020年9月	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期 3Q
売上高	(千円)	36,109,029	21,996,890	26,347,156	29,767,431	26,632,145	15,713,407
経常利益	(千円)	1,184,035	207,244	595,939	709,660	431,662	240,818
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	732,959	120,839	390,983	437,051	271,306	190,104
包括利益	(千円)	735,628	141,111	427,266	467,209	294,367	164,657
資本金	(千円)	331,507	536,169	539,369	539,369	539,369	542,369
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,784,000	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800	1,966,800
純資産額	(千円)	4,340,511	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,724,103	5,792,224
総資産額	(千円)	12,814,634	13,414,303	12,964,840	13,468,183	14,693,938	10,043,637
1株当たり純資産額	(円)	2,376.58	2,408.78	2,567.33	2,746.25	2,839.00	2,859.82
1株当たり配当額	(円)	40.0	45.0	40.0	50.0	50.0	-
1株当たり当期純利益	(円)	411.31	62.51	199.92	222.90	138.37	96.82
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	(円)	-	61.85	198.33	221.52	137.52	96.25
自己資本比率	(%)	33.0	35.1	38.8	40.0	37.9	56.0
自己資本利益率	(%)	18.7	2.7	8.0	8.4	5.0	3.4
配当性向	(%)	9.7	72.0	20.0	22.4	36.1	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	2,764,536	▲1,906,273	1,298,076	242,357	341,555	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲91,784	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲82,011	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲213,022	238,372	▲298,007	▲120,931	▲202,311	-
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	6,162,281	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,517,421	6,064,728
従業員数	(人)	155	157	162	175	176	173
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(39)	(54)	(58)	(62)	(62)	(64)



## ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン  
経営企画室 IR担当  
TEL : 06-6387-1554  
Email : ir-support@leoclan.co.jp